

海外安全対策情報 平成26年度第2四半期

1. 社会・治安情勢

(1) 7月2日、チュイ州内務局はトクモク市製油所で不法労働者である中国人50人が警察に対して武器を用いて抵抗したと発表した。

(2) 7月3日、内務省はジャララバード州でヒズブ・タフリールの構成員を拘束したと発表した。

(3) 7月10日、バトケン州タジキスタン飛び地国境付近において、キルギス・タジク両国国境警備隊間で銃撃戦が発生した。

(4) 8月9日、バトケン州タジキスタン国境付近において、キルギス側住民とタジク国境警備隊との間で銃撃戦が発生した。

(5) 8月13日、カザフスタン国家安全保障委員会はカザフスタン国境付近においてキルギス側住民とカザフスタン間で銃撃戦が発生したと発表した。

(6) 8月19日、バトケン州ウズベキスタン国境付近において、においてキルギス国境警備隊がウズベキスタン住民に対し発砲し、ウズベキスタン住民1人が死亡した。

(7) 9月11日、チュイ州においてヒズブ・タフリール関連書籍の所持容疑で男性が拘束された。

(8) 9月11日、オシュ空港においてパレスチナへの渡航を企図したタジキスタン国籍者が逮捕された。

(9) 9月13日、オシュ州においてヒズブ・タフリール関連組織のメンバー2人が拘束された。

(10) 9月15日、トクモク市において石油精製工場建設に反対する抗議集会が開催された。

(11) 9月16日、ナリン市中心部において電気料金値上げに反対する抗議集会が開催された。

(12) 9月29日、チュイ州においてヒズブ・タフリール関連書籍の所持容疑で男性が拘束された。

(13) 9月29日、ジャララバード州においてヒズブ・タフリール関連組織構成員7人が逮捕された。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

殺人、強盗等の凶悪事件が散見される他、空き巣、公共交通機関やバザールでのスリ、置き引き等の窃盗事件が日常的に発生している。日本人は、路上強盗、窃盗、また官憲による賄賂の要求等に特に注意を要する。

(1) 殺人・強盗等、凶悪犯罪の一例

ア 3月にビシュケク市内において、母親を殺害し遺体を遺棄した罪で、7月7日に男性が逮捕されたと内務省が発表した。

イ 8月3日、イシククリ州においてロシア人が銃器によって殺害された。現在警察が捜査中である。

ウ 8月11日、ビシュケク市内において男性が殺害された。現在警察が捜査中である。

エ 8月27日深夜、ビシュケク市内においてカラコル市市議会議員が何者かによって射殺された。現在警察が捜査中であるが、被疑者については未だ検挙されていない。

オ 9月23日午後7時40分頃、ビシュケク市内中心部の会社事務所前路上において会社社長が射殺、同従業員等3名が負傷し、現金177万米ドル及び6,000ユーロが強奪される事件が発生した。

(2) 邦人被害

認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

(1) テロ事件

認知していない。

(2) 爆弾事件

認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 誘拐・脅迫犯罪の一例

認知していない。

(2) 邦人被害

認知していない。

5. 日本企業の安全に関する諸問題

キルギスでは、1999年8月に南部バトケン州において、邦人4名等が過激派武装勢力により誘拐されており、注意を要する。